



太陽光発電設備 保守点検のご案内

2017年4月1日より「改正FIT法」施行により メンテナンスが義務化されました！

「安定的かつ効率的に再生可能エネルギー発電事業を行うために発電設備を適切に保守点検及び維持管理すること。」が義務付けられました。

固定価格買取制度（FIT）による全ての太陽光発電設備が対象です。

長く安心して発電を維持するためにも メンテナンスは必要です！

特に、業務用太陽光発電設備などの大きな発電所になりますと、知らない間に、発電量が減少していた、パワーコンディショナが故障していた、などという事があると多大な損失につながります。

設置頂いた太陽光発電設備を有資格者が定期的に点検することで、システムの安全性、発電性能を維持し、不具合が見つかった場合には、改修およびメンテナンス等のご提案をさせていただきます。

必要なのは「日常点検」+「定期点検」

日常点検

日頃の目視点検、発電量の確認など、発電事業者様にて確認いただくのが一般的です。

定期点検

当社では、ガイドラインに沿った定期点検を承っております。普段はなかなか難しい電気設備の確認まで行うので安心です。点検後は、レポートにてご報告いたします。

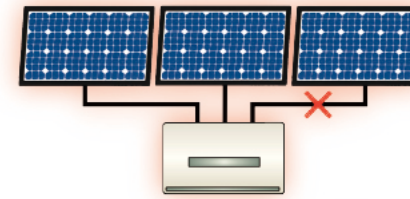
主な点検内容

外観目視点検 / 動作確認 / 太陽電池モジュール 開放電圧測定 / コンセント盤 開放電圧測定 / 太陽電池モジュール 絶縁抵抗測定 / システム回路 絶縁抵抗測定

定期点検を行うことで、見つかった不具合の実例

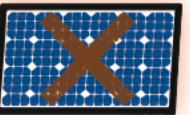
システムの断線

72系統のうち、1系統が断線していた。
全体の発電量からは発見できていなかった。



▶断線を改修することで発電量は回復。

モジュールの汚れや劣化



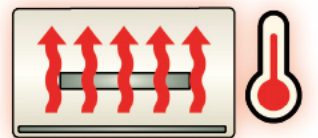
著しいモジュールの汚れを発見。

▶発電量に影響するため、洗浄を実施。

一部のモジュールに劣化を確認。

▶メーカー保証にて対応。

パワーコンディショナの異常



パワーコンディショナの温度上昇による抑制が発生していた。

パワーコンディショナ5台のうち、1台が停止しているのを発見。定期点検9日前に停止していたが、設備設置者は気づかずそのままになっていた。

▶いずれも、パワーコンディショナのフィルターを掃除することで改善した。

定期点検概算費用

設置場所・容量などにより点検費用をお見積もりいたします。

